

5月30日（木）新聞掲載（5月24日の地域清掃）

3年生が地域清掃ボランティアとして学校周辺のごみ拾いをしました。

波崎高生ごみ拾い 学校周辺、手際よく

神栖市土合本町の県立波崎高校（秋山克巳校長）の生徒が24日、学校周辺のごみ拾いや校庭の除草作業に取り組んだ。ボランティア意識を高め、地域とのつながりを深めるのが狙い。同校では、毎年3回の奉仕作業を各学年が1回ずつ担当。学校周辺の清掃やグラウンドの環境整備を行うのが恒例で、今回は3年生約180人が地域の清掃活動などに汗を流した。生徒らは軍手を着け、草



学校周辺のごみ拾いに取り組む生徒ら。神栖市土合本町

むらや道路脇に落ちているごみを見逃さず収集し、協力して手際よく作業を終えた。

3年の菅谷美温さん（17）は「みんなで協力して、普段やらない場所まできれいにできて良かった」とすがすがしい様子で話した。（松浦かえで）

茨城新聞 2019.5.30